

ゆのまえ 議会だより



No. 31
令和2年
8月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

チーム人吉球磨で復興支援

コロナ感染



豪雨災害

2020年

P2 特集1
豪雨災害再び

P3 特集2
議会の新型コロナ対応

P4 特集3
議会改革ランキング急上昇

P5 本会議
新型コロナに大規模支援策

P9 一般質問
一般質問を再開

P14 委員会

P16 全員協議会

P18 研修・議員派遣

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

2020年7月。熊本県南部を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨は、新型コロナウイルス禍中での大規模災害となりました。最優先の課題はチーム人吉球磨の復興支援です。

特集1

豪雨災害再び

昨年につづき甚大な被害

本町では、昨年6月下旬から7月初旬にかけて記録的な大雨となり、復旧が必要な箇所は10箇所におよびました。7月3日から4日にかけての令和2年7月豪雨は、人吉球磨地域に甚大な被害を与えました。湯前横谷では、24時間降水量497ミリの過去最大雨量を記録。7月6日と15日の全員協議会で被害状況の説明がありました。

町内の被害状況

過去最大級（7月29日時点）

- ◎農地 126件
- ◎道路 31件
- ◎河川 18件
- ◎山林 19件
- ◎グリーンパレス周辺 5箇所
- ◎折戸上水道水源 1箇所
- ◎家屋
 - 一部損壊 1世帯
 - 床上浸水 5世帯
 - 床下浸水 42世帯
- ◎インターネット 7月9日まで使用できず
- ◎電話回線 7月7日まで使用できず



牧良川の土砂・流木

災害支援への寄附募集

全国から支援の志（8月4日時点）

- ◎さとふる
 - 湯前町 221万円
 - ふるさとチョイス 湯前町 130万円
- 鎌倉市代理受付 116万円



中猪区の山腹崩壊



水源地の道路陥没

特集2

議会の新型コロナ対応

3密避けて議会を開催



入場前のマスク着用と手の消毒

国内で新型コロナウイルス感染者が増加している現状を鑑み、湯前町議会は、議員が感染しないための行動および万が一感染した場合の拡大を防ぐ行動を徹底するため、「新型コロナウイルス感染症対応議員申し合わせ」を策定しました。



ソーシャルディスタンスの議席

- 通常の感染防止対策**
- ① 感染がみられる地域への訪問自粛と毎日の行動履歴を記録する。
 - ② 手洗い消毒、マスク着用、3密を避けることを徹底する。
 - ③ 発熱などの症状がみられる場合は会議への出席を自粛する。
 - ④ 行政視察・特別研修は実施しない。
- 議場の対策**
- ① 入場者の検温、マスク着用、アルコール消毒を義務化する。
 - ② 議席間と執行部席間を1席空ける。
 - ③ 一般質問などは自席で行う。



常時開放した議場の扉

- 傍聴者の対応**
- マスク着用、アルコール消毒、座席間を2メートル以上空けることをお願いする。(当初は傍聴自粛を呼びかけ)
- その他**
- ① ドアノブ接触防止と換気のため、扉は常時開放する。
 - ② 空気感染防止のため、エアコンの使用をできるだけ控える。
 - ③ マスク着用を原則とするが、熱中症対策として適宜外すことを可能とする。
 - ④ 審議時間が長引かないよう、議員・執行部ともに簡潔な発言と説明に心がける。

特集3

議会改革ランキング急上昇

県内町村で2位

このランキングは、早稲田大学マニフェスト研究所調べによるものです。全国の地方議会1788議会(都道府県・市町村議会)のうち1433議会の回答があり、本議会は熊本県内の町村で2位(全国町村51位、全国市町村277位)となりました。改選以降、議会改革調査特別委員会を立ち上げ、「住民に見える議会」「住民が参加しやすい議会」「議会力・議員力の向上」の実現に向けて取り組んだ結果が評価されました。

町村 順位	都道府県	議会名	個別順位			個別得点			総合得点 (和)
			情報共有	住民参画	機能強化	情報共有	住民参画	機能強化	
1	北海道	芽室町議会	2	1	21	750	1,155	995	2,900
2	北海道	福島町議会	1	53	19	845	810	1,015	2,670
3	京都府	精華町議会	470	2	24	205	1,130	975	2,310
4	宮城県	柴田町議会	546	80	15	180	755	1,085	2,020
5	北海道	栗山町議会	62	37	91	460	855	695	2,010
6	長野県	飯島町議会	354	58	25	255	800	950	2,005
7	埼玉県	三芳町議会	270	23	75	290	890	730	1,910
8	神奈川県	箱根町議会	6	91	291	680	720	475	1,875
9	岡山県	鏡野町議会	1282	79	14	-25	760	1,110	1,845
10	長野県	軽井沢町議会	310	20	119	275	895	645	1,815
(途中省略)									
41	岐阜県	御嵩町議会	370	305	253	245	510	500	1,255
42	福島県	湯川村議会	655	372	105	145	440	660	1,245
43	鳥取県	琴浦町議会	1058	261	123	40	545	640	1,225
44	神奈川県	大磯町議会	134	245	644	375	565	280	1,220
45	栃木県	益子町議会	281	248	471	285	560	355	1,200
46	京都府	宇治田原町議会	515	103	611	190	710	295	1,195
47	京都府	京丹波町議会	829	154	321	95	650	450	1,195
48	愛知県	大口町議会	490	241	371	200	570	420	1,190
49	佐賀県	基山町議会	975	65	482	60	780	350	1,190
50	北海道	清水町議会	79	196	1018	435	610	135	1,180
51	熊本県	湯前町議会	655	391	155	145	425	600	1,170

新型コロナウイルスに 大規模支援策

一般会計で7億円を補正

6月定例会は、4日から11日まで8日間の日程で開かれました。新型コロナウイルス支援策に関する議案(専決処分4件、一般会計補正予算など)を先に承認・議決した後、4人の一般質問を行いました。専決処分を含む一般会計の補正額は7億円を超え、そのうち約半分が特別定額給付金10万円の支給分です。また、6月24日に臨時議会を開催しました。

補正予算

新型コロナウイルス支援策

(国の一次補正)

総事業費9000万円超

今回の補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る経済対策を盛り込んだ国の第一次補正予算(5500万円)によるものです。現在、国の第二次補正予算(1億9300万円)の支援策を検討しています。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策 事業一覧

(単位：万円 ※総事業費の千円単位は切り捨て)

項番	事業名	事業内容	総事業費
1	「ゆのまえ得々商品券」	町内商工業者を支援する。 販売金額：1万円(1000円×13枚綴り)プレミアム率30% 販売総額：300万円(発行額：390万円)	100
2	湯前町商工会ふるさと商品券プレミアム付与事業	会員事業所すべてで共通に使用できる販売済みの「ふるさと商品券」にプレミアムを付与することで、町民の消費需要を喚起し、商工業者を支援する。 プレミアム付与額：1000円商品券1枚につき300円プレミアム率30% 付与総額：150万円(300円×5000枚)	200
3	湯前町商工会プレミアム付商品券発行事業	会員事業所すべてで共通に使用できるプレミアム付商品券を発行することにより町民の消費需要を喚起し、商工業者を支援する。 販売金額：5000円(500円×13枚綴り)プレミアム率30% 販売総額：4000万円(発行額：5200万円)	1310
4	湯前町休業要請等協力金事業	令和2年4月21日に発出された熊本県休業要請および依頼に協力した中小企業者などに対して協力金を交付することで事業者の持続的な経営の安定を図る。 熊本県休業要請の休業または時間短縮営業協力依頼の対象となった事業者が期間内(4/22～5/6)に休業又は時間短縮営業を1日でも行った場合、1日あたり2万円を支給する。(最大20万円×13事業者)	260
5	商工業経営持続化支援金事業	町内事業者に対し、町が支援金の交付を行うことで事業者の持続的な経営の安定を図る。 連続した前年同2カ月比で売上げが15%以上減少した中小企業および個人事業者に対して、売上げ減少額の3分の1を補助する。(上限30万円×124事業者) 比較対象期間は令和2年1月から6月まで。	3720
6	農林業経営持続化支援事業	町内農林事業者に対し、町が支援金の交付を行うことで事業者の持続的な経営の安定を図る。 売上が連続する前年同3カ月間比で、売上げが15%以上減少した農林事業者に対して、売上げ減少額の3分の1を補助する。(上限30万円×50経営体) 比較対象期間は令和2年1月から6月まで。	1500
7	肥育牛経営緊急支援事業	やむを得ず出荷調整を行う肥育牛農家の掛り増し経費を支援する。(国事業の上乗せ補助 2万2000円×50頭)	110
8	学校保健特別対策交付金	公立小・中学校における感染拡大防止を図るため、非接触型体温計などを整備する。 ◎非接触型体温計 (小学校 7本、中学校 4本) ◎加湿型空気清浄機 (小学校 12台、中学校 6台) ◎保健衛生用品など (小・中学校)	100

9	公共的空間安全・安心確保事業	集会場、公民館、スポーツ施設などの公共空間における感染拡大防止を図るため、非接触型体温計などを整備する。 ◎非接触型体温計 5本 ◎サーモグラフィー機器 1台	20
10	公立学校情報機器整備費補助金	遠隔授業などの実現に向けた端末を整備する。(小学校5・6年生が対象) ◎児童貸出用タブレット 60台	1200
11	公立学校情報機器整備費補助金(単独)	遠隔授業などの実現に向けたICT機器を整備する。(中学校が対象) ◎教諭指導用タブレット 10台 ◎貸出用Wi-Fiルーター 100台	300
12	防災活動支援事業	避難者の感染予防のためのサージカルマスクおよび消毒液を備蓄しておくことで、避難所内での感染拡大を防止する。 ◎サージカルマスク(大人用) 6500枚 ◎サージカルマスク(子供用) 5000枚 ◎アルコール消毒液 2本 ◎アルコールハンドジェル 120本 ◎消毒液 20本 ◎使い切り手袋 100箱	93
13	公共的空間安全・安心確保事業	庁舎などの窓口へのアクリル板の設置により、職員と来庁者との接触を減少し感染防止を行う。 ◎役場窓口用アクリル板(350cm×85cm) 3カ所 ◎中央公民館アクリル板(120cm×100cm) ◎保健センターアクリル板(3台)	18
14	医療体制等の町民への周知・協力依頼事業	医療体制などに対する町民への周知・協力を図る。 ◎懸垂幕 1枚 ◎手洗いチェッカー 1台 ◎手洗いローション 2本 ◎ハンドソープ 4本 ◎ペーパータオル 30パック ◎ポケットウェットティッシュ 3700個	31
15	必需物品供給事業	感染拡大防止のため飲食店、卸・小売業者、サービス業に消毒液を設置する。 ◎手指消毒液 80本	8
16	医療提供体制等構築事業	町内3医療機関へ感染防止に必要な消毒液などの衛生用品を配布する。 ◎防護服 50枚 ◎ゴム手袋 5000組 ◎フェイスシールド 30個 ◎サージカルガウン 200枚 ◎手指用消毒液 3本 ◎受付設置用アクリル板 3台	70
17	公共的空間安全・安心確保事業	集団健診時の空間安全・安心を確保する。 ◎次亜塩素酸水消毒液 ◎空気清浄機 3台	91
18	健康支援事業	住民主体の通いの場において感染防止を図り、安心して体操ができる環境を整える。 ◎非接触型体温計 25本 ◎手指消毒液 50本	55
19	必需物品供給事業	保育園が購入する物品の購入経費を支援することで、安心・安全な空間づくりを促進する。 ◎手指消毒液 10本 ◎非接触型体温計 4本 ◎児童用テーブル 8台	49
20	必需物品供給事業	学童クラブが購入する物品の購入経費を支援することで、安心・安全な空間づくりを促進する。 ◎手指消毒液 10本 ◎非接触型体温計 4本 ◎パーテーション 5台	26
21	子育て世帯支援活動事業	臨時休校に伴う子育て環境の整備を目的とし、児童の健全育成と子育て世帯への負担軽減を図る。 学童クラブ利用時の昼食(弁当)持参に代わり、昼食の無償提供を行い、利用児童の栄養管理および保護者の心的・経済的負担軽減を図るため、新たに取り組みされた食事の無償提供に要する経費。 【事業費内訳】5000円×10回。(5000円×10回)	5

**人吉球磨観光地域
づくり協議会負担金
事業費分**
393万6000円

▼令和2年度の事業計画が策定され、事業費分の構成町村の負担金が決定しました。内訳比率は、均等割10%、人口割45%、財政割45%です。

▼事業内容は、民間事業者主導型による地域資源をマーケティングにした商品開発などです。

▼主な財源は、地方創生推進交付金196万8000円で、事業費の2分の1を占めます。また、人吉球磨広域行政組合の基金（ふるさと市町村圏基金）から構成町村に分配された110万5000円を充当します。

事務費分

146万8000円

▼事務費分は、協議会事務局に派遣している錦町・あさぎり町・多良木町の職員に係る人件費で、令和元年度の実績に基づく構成町村の負担金です。

**町道・橋梁・住宅
などのインフラ整備
舗装構造調査業務委託料**
799万9000円

町道向田上辻線8km、町道高沖線1km、合計9kmの調査を行います。

**歩道整備用地測量業務
委託料**
899万9000円

町道新村線の歩道整備にあたり、予定筆数14、面積1万4000㎡、買収予定面積620㎡の測量を行います。

町道舗装修繕工事
4499万9000円

町道松原上車線、延長430mの舗装を行います。

橋梁補修工事
1999万9000円

梅木橋（植木区）800万円、瀬戸口橋700万円、深田線橋500万円の長寿命化の工事を行います。

上村住宅の屋根外壁工事
2099万9000万円

▼上村住宅6棟の屋根外壁の改修工事と工事監理委託を行います。

▼主な財源は、社会資本整備総合交付金834万2000円と、町債（住宅整備債）1159万9000円です。

配水管敷設工事
260万円

▼熊本県の国道219号改良工事に伴い、本町の配水管敷設工事を行います。

▼場所は、栗原写真場からナガマツ電気付近までの延長95m分です。

排水路改修工事測量設計業務委託料
899万9000円

▼深田地区排水路工事にあたり、延長150mの測量を行います。

▼負担割合は、国55%、県14%、町21%、地元10%です。

▼要望事業費3800万円（測量設計900万円、工事2900万円）のうち、設計分のみ決定しています。

**蓑谷ため池ハザード
マップ作成委託料**
319万9000円

▼蓑谷ため池が災害で決壊したことを想定したハザードマップを作成します。

▼主な財源は、農業費県補助金299万9000円です。

▼議会からは、以前作成した大谷川のように、晴れた日の地震による決壊ではなく、大雨による決壊を想定するよう指摘しています。

**御大師堂保存修復工事
設計監理業務委託料**
1600万円

工事請負費
6349万9000円

▼令和2年度は、設計監理・構造診断の委託と、仮設・解体・組み立て・防災設備の工事を予定しています。

▼主な財源は、街なみ環境整備費の国庫補助金3847万4000円と、町債（文化財施設整備債）3839万9000円です。

**地域福祉計画・地域
福祉活動計画
改定業務を委託**
200万円

▼平成27年度に策定した湯前町地域福祉計画（第2次：平成28年度～令和2年度）の改定業務です。今回、令和3年度から令和7年度までの計画を策定します。平成12年6月の社会福祉事業法などの改正で、新たに規定された事項で

あり、市町村と都道府県の地域福祉計画からなります。

▼地域福祉計画は、地域住民などの参加を得て、地域生活課題を明らかにし、その解決に必要な施策の内容や量、体制などを、庁内関係部局はもとより、多様な関係機関や専門職も含めて協議のうえ、目標を設定し、計画的に整備します。

条例改正

新型コロナウイルスの減免措置
湯前町国民健康保険条例
の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症の影響により、次の要件を満たす場合、国民健康保険税が減免となります。

保険税を全額免除

新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った世帯の方。

保険税の一部を減額

新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の収入減少が見込まれる世帯の方。

その他

7年以上功労者表彰
熊本県町村監査委員
協議会

▼黒木龍次議選監査委員が、町村監査委員として7年以上在籍し、功労があったものとして、熊本県町村監査委員協議会から表彰を受けました。

▼表彰式は、新型コロナウイルスの影響で中止となり、町長室において長谷町長より表彰状の伝達がありました。



表彰を受けた辻氏(写真左)と黒木議員(写真右)

令和2年度一般会計補正予算

賛成討論 椎葉議員

得々商品券のプレミアム率3割は、商工業者だけでなく、町民への支援も含む。町負担100%の支援であり、町外よりも町内を優先すべきであり、本来なら本議案に反対するところだが、新型コロナウイルス支援を止めるわけにはいかないため、賛成する。

議案審議 賛否一覧

議案	遠坂道太	椎葉弘樹	森山宏	黒木龍次	味岡恭	金子光喜	高橋一雄	黒木喜巳男	山下力	倉本豊	審議結果 (賛成：反対)
湯前町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
湯前町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
湯前町後期高齢者医療に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
令和2年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
令和2年度湯前町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
令和2年度湯前町水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9:0)

○：賛成 ×：反対 -：採決なし(議長は採決に加わりません) ※上記以外に専決処分承認が4件

一般質問を再開

新型コロナの延期分

6月定例会の一般質問は4人の議員が行いました。また『関連質問』は、遠坂、椎葉、森山、味岡の4議員が行いました。今回の一般質問は、新型コロナウイルスの議会对応（「特集2」3ページを参照）により、自席から行いました。

質問者(登壇順)	質問項目	通算 質問回数※
森山 宏	①省電力化対策について	3 (4)
椎葉 弘樹	①行財政改革から行政経営改革へ	14 (7)
金子 光喜	①町の防災対策	14 (3)
遠坂 道太	①まんがを活用した町づくり ②プレミアム付商品券の利用拡大	13 (7)
高橋 一雄		13 (5)
味岡 恭		5 (7)
山下 力		1 (2)
黒木 喜巳男		0 (1)
黒木 龍次		0 (0)
倉本 豊		2 (0) (議長)

※：数字は平成28年11月 新体制以降の一般質問回数(全14回)、括弧数字は平成30年9月以降の関連質問回数(全7回)

湯前町議会では反問権と関連質問を認めています。

反問権とは？

町長や職員が、議長の許可により議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、反問することができるもの。反問されることにより、議員も質問事項を十分精査した上で政策論争に臨まなければなりません。

関連質問とは？

執行機関に対する監視機能、政策提案機能を果たすため、一般質問議員の質問後に、他の議員から質問を補足するもの。一般質問を議場でひとりぼっちにしない効果的な取り組み。これは全国的にも事例は少なく、人吉球磨管内では初めての取り組みです。

一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

一般質問は、これまでIP告知端末放送(2チャンネル)とYouTube動画による録画配信を行っています。これに加えてYouTubeのライブ配信(生放送)も視聴できるようになりました。パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。9月定例会の一般質問では、YouTubeライブ配信と録画配信をぜひご覧ください。

YouTube動画(「湯前町オフィシャル」で検索)



問 省電力化への対策は

答 国策の制度を活用しながら LEDの整備を進めていく



録画中継



森山 宏 議員

要旨1 照明の2020年問題の認識・対応は。

課長 2020年問題は、水銀環境汚染防止の国際条約に伴い、2020年以降、水銀灯・蛍光灯機器の製造を中止して、LEDなどの次世代照明などで100%達成、2030年度までに100%設置することを政府は目標に掲げている。蛍光灯が全くなくなるわけではないが入手しにくくなる問題である。

要旨2 施設毎の電力契約企業・消費金額は。

課長 高圧契約、電灯と電力のどちらでも使用できる契約。詳細には、役場庁舎60キロワット(kw)、給食センター110kw、小学校106kw、中学校70kw、まんが美術館115kwの契約。

要旨3 契約企業の見直し検討は。

課長 平成28年度から電力会社の比較検討をして変更を行

い、主要な施設の電気料金の削減に努めている。

役場庁舎もデマンド方式で契約している。一番高いところの電気料金を基準に基本料金が決まる。電力会社の話では、照明関係も含め省エネに努めれば契約金額は下げられるだろうとの回答を得ている。

本庁舎だけを見るとグロー型のほか、ラビット型やインバータ型もあり、器具的にまちまち。今後、詳細設計が必要なので、コンサルに依頼を考えている。

要旨4 水銀灯の設置箇所・個数は。

課長 B&G体育館21、町民グラウンド13、まんが美術館30、改善センター33、小学校体育館35、中学校体育館20の計152灯、および街灯・防犯灯が56基(ナトリウム灯)。水銀灯は生産中止になりメーカー販売店の在庫がある限りだが、換えるにはかなり

の金額がかかる。町民グラウンドのナイター関係は、コンクリート柱の老朽化により多額の費用がかかる。

要旨5 LED照明に完全移行検討は。

課長 野中田方面へ行く歩道は、子ども議会でも生徒から指摘を受けている。歩道設置工事において最寄りの電柱が遠いこともあるが、防犯灯・街路灯の計画の中で設置したい。

町長 新たな政策の課題として捉え、基本計画・正確な実態の把握、全体の把握をした後、国策の交付金制度を活用しながら、整備の方向に向かっていきたい。

要旨6 移行後の経費計算は。

課長 町民グラウンドは支柱ごと換えなければならず、1本あたり500万円弱の見積もりで総額6000万円弱かかる。改善センターは本年度

にLED化、B&G体育館は財団の補助がつけば令和3年度以降、小中学校体育館はB&G体育館と同様に600万円弱がかかるが早く進めたい。

照明の2020年問題

2020年以降、蛍光灯や水銀灯(既存照明)の生産が無くなります。



椎葉 弘樹 議員

問 行財政改革から行政経営改革へ抜本的に見直す考えは

答 その改革に向けてやっていきたい



録画中継

要旨1 行財政改革の位置づけは。

町長 依存財源の体質から脱却しなくてはならない。歳出部分のカット、義務的経費がかなり大きなウエイトを占める部分が、行革の大きなポイントになってくる。

要旨2 計画と評価結果を公表していく考えは。

町長 行財政改革の計画と評価結果は、行革の委員を通じていまの第6期計画があるので、公表していく。

要旨3 事務事業の業務改善と評価方法に事業評価シートを導入する考えは。

町長 他自治体での評価・検証システムがあるのは承知している。いま試行段階にある各課共通の事業評価の仕組み

において、事業評価シートが簡易であれば対応可能。例えば、過去5年間のうちどのどのような事業を行ってきたのか、事業費がどれだけ使われているのか、将来的に向こう2〜3年の間にどうなるのか、そういうプロセスの下での評価だと思ったので、当然、前向きにその部分はやりた

要旨4 第6期行財政改革の検証と計画の見直しは。

町長 主だった財政支出部分、早期健全化基準という部分の見える化は、担当に命令し、早速、公表するよう段取りしたい。

第6期行財政改革の見直しは、できれば来年度の策定時期に、1年遅れるかもしれないが、検討を加えたい。議員ご指摘の追加・変更の部分、公共施設のマネジメントも、そこに入ってくると思う。行政というの、のろまな部分があり、前の年度で変更して次の年ですぐ反映できるかというの、疑問に思ったので、計画の見直しは策定年度のお願いでできないか。数値目

標の部分は可能ではないかと思う。二段方式にできればと考えている。

要旨5 「人材育成」「定員の適正化」「KPI(重要業績評価指標)導入」など、生産性の高い行政経営改革へ方針転換する考えは。

町長 最近、県庁あたりの出向もない。希望も取っていない。加えて自治大学にも行っていない。そこも踏まえながら職員のポトムアップを何とかやっていきながら、町行政の運営にも役立てる方向でいきたい。未来のひとつと、ここにも十分投資をしていかなければならない。

行政事務の民間委託が効率的、効果的と判断される場合、可能な部分を早急に検討して返答する。職員異動の希望調書がこれまでは無かった。今回、総務課長に命令して他町村の事例を調べるよう動いている。会計年度任用職員制度を使い、職員数を確保したいので、行政ニーズが膨らまない限りは、そのままの人数で行政を動かしていくのが基

本。第6次定員適正化計画には、会計年度任用職員の実態を補足して、将来的にどうなるかの部分を変えたい。

KPIや数値目標と業績評価を連動させることが可能かどうか、現時点でよく理解していないので、改めて総務課長と十分協議をしたい。

行政改革推進委員会のあり方は、新たな仕組みを作らなければいけないと思ったので、仕組みを変更させていきたい。

議員からご指摘いただいた部分を十分確認しながら、目標も達成しながら、これまでに、その改革に向けてやっていきたい。

持続可能なまちづくり



前例踏襲・行政常識の打破

行政の見える化

生産性の向上

問 町の防災対策は万全なのか



録画中継



金子 光喜 議員

答 感染防止や職員の対応力などの課題に取り組む

要旨1 大型化した風水害対策は。

課長 昨年は特別警報が出されて、日本各地で想定外の範囲を超える雨量による大規模な気象災害が発生している。これから梅雨、台風のシーズンを迎え本町においても想定しなければならぬ。

本町の水防計画書は、球磨川を想定した計画書になっている。町内の中小河川は、警戒水位などの基準値はない。中小河川を想定した場合、専門的な知識や調査が必要で費用もかかる。充実した内容に変えていく必要はあると思う。

災害による停電に対応する事業継続のための発電機の借り上げや設置について、酪農においては、酪農経営災害緊急支援事業(国の補助率2分の1)がある。他の分野、事業についての発電機の支援は、調査できていない。

要旨2 避難計画と感染防止対策は。

課長 避難所運営は、コロナ対策も含めて考えておかなければならない。感染のリスク

を考えると、必ずしも避難所だけが難を逃れる所ではないことも認識していただきたい。

本町では、大雨、台風については早め早めに避難所を設置している。役場や保健センター、改善センターなど、学校施設も含めて最大2700人を当初は計画していたが、感染防止の避難所運営マニュアルでは700人まで収容人数が減る計算になる。今後、見直した部分や避難所入所の際の注意点も含めてお知らせしていく。また、担当する職員の対応力向上も併せて取り組んでいく。

要旨3 防災意識向上への取り組みは。

課長 地震や風水害など、大規模な災害に備えた大がかりな訓練も必要となる。また、地区単位の自主防災組織の訓練で、AEDの取り扱いなど、担当が向いて安全意識を住民に高めてもらう取り組みを今後も継続していく。

教育長 阪神淡路大震災や東日本大震災などを踏まえて、現在教育の大きな課題の一つ

になった。特に熊本地震後は地域と協力した防災教育が進められており、昨年は、総務課の担当者に小中学校併せて対応いただいた。

町長 職員全体での訓練などは行っていない。図上訓練は行ってきた実績があるので、さまざまな想定に基づいた高度な知識習得や研修をしていく必要がある。



氾濫後の都川

関連質問 高橋議員
停電時の発電機支援について、酪農や園芸農家への対応の話だったが、食料品を扱う店舗なども考えるべきでは。

関連質問 椎葉議員
①防災関係のマニュアルは、

防災マップやハザードマップなどバラバラに発行されている。防災関係の資料を一元化できないか。

②新しくなった町ホームページでの防災サイトの内容が十分でない。再点検、整理していく考えは。

町長 整理整頓ができていない部分がある。早速対応して情報の透明化を目指す。

関連質問 森山議員
避難所運営において、コロナ禍による変更などを周知する予定は。

課長 防災計画書の中では概要しか記述はないが、詳細には自主防災組織や消防関係者にも説明が必要。



連日の豪雨災害報道



遠坂 道太 議員

問 まんがを活用した
町づくりは



録画中継

答 風刺漫画とアニメの2本
立てで取り組む

要旨 まんがを活用した町づくりの取り組みは、**課長** 活用計画は延長をし、必要に応じて修正を加えていく。

晴天時は、野外のスペースに机椅子などを置き、読む空間を提供、他施設との連携で対応している。

各自自治体においても、秋のイベントなどの検討がされている。6月18日の漫画フェスタ実行委員会で、最終判断をする。町内の方々が参画し、楽しんでもらえる内容の見直しを行う。

教育長 検討する余地がある。いろんな作家の方、大学の先生などの関係をつなぐに試みを検討してみたい。

町長 これまで以上に、町民の来館者による魅力ある施設を充実させ、人・物・金が流れる中核的な施設にしなければならない。

開催場所の検討、自然の中の教室、大いに取り入れさせていただき、可能であれば実行する方向。まんがが教室は、今後も継続したい。漫画家の先生や漫画関連の大学関係者など、湯前町に来ていただいた実績を生かして、漫画の町を魅力的に磨き上げ、力を入れて前向きに動かしていきたい。

現在、レールウイング上でミニイベントなどを開催している。十分精査し、さらに考えられるイベントなどがあれば、柔軟な発想で計画をもっていければと思う。

まちづくりビジョンの中に、漫画の将来というかたちで行った場合は、柱となる部分、基本となる部分は、「那須良輔の世界」と思っている。7000点を上回る作品群を生かしていきたい部分がある。那須良輔氏の作品をコンセプトにして、将来に合わせながら、若者向けのコミックと漫画フェスタのシチュエーションを考え、新たなイベントに取り組みなければならぬ。

関連質問 椎葉議員

まんが美術館等活用計画を、長谷町長の色を出して早急に見直す考えは。

町長 この活用計画は、前町長のまま今動いている。ハード事業、ソフト事業の部分を計画どおり実施する必要はないかと思う。未実施の部分を十分参考にして、私が思っている姿に、再整備する必要が

問 プレミアム付商品券の利用拡大は

答 意見があったことを商工会に伝える

要旨 プレミアム付商品券の利用を町内全事業所で利用できるようにできないか。ことも知らせる。

町長 地域限定の商品券の発行事業は、町外への消費者流出を抑え、地元消費を喚起し、

商工業者の持続的な経営の支援、そして地域経済の停滞を防ぐのが目的。

このような意見があった事を商工会に伝え、過去にこのような扱いをした事例がある



新型コロナ対策の商品券



ビジョンの柱は風刺漫画

総務常任委員会

6月9日

委員長	森山宏
副委員長	黒木龍次
委員	黒木喜巳男、高橋一雄、味岡恭

次の所管事務を調査しました。

◎レールウイングの活用状況

令和元年度利用実績62件・来場者数3343人

レールウイングを視察

▶令和元年度におけるレールウイングの利用状況は、個人利用9件、団体利用9件、湯前町5件、熊本県ジョブカフェなど8件、奥球磨スマートタウン31件の計62件、来場者数は3343人でした。

▶ひな祭り展の来場者数は3026人(前年度の半数)。まんが図書館の利用者数は2624人(3月休館)。いずれの施設利用も新型コロナウイルス禍で軒並み減少しました。



機能改善したレールウイングのモニュメント

▶モニュメントの外側にあるアクリル板の上部には、漫画家の直筆絵があります。その下部のホワイトボードは、子どもたちのお絵かき用にしています。

▶プロジェクションマッピングは、可動式のスクリーンを採用し、2方向での使用が可能です。これまでピアガーデンとマルシェで使用しています。

▶トイレの使用時間は、管理者が常駐している時間帯(10時～16時)です。(防犯対応)

▶苺まつり・ぶどう祭りの会場は、天候に左右されない屋内施設で実施しています。

経済建設常任委員会

6月9日

委員長	遠坂道太
副委員長	黒木龍次
委員	山下力、味岡恭、椎葉弘樹

次の所管事務を調査しました。

◎林業成長産業化地域創出モデル事業

林業成長産業化の現状調査

上球磨森林組合加工場を視察

廣瀬(新)組合長、那須参事から資料説明を受け、加工場内を視察しました。

▶林業成長産業化地域創出モデル事業は、「各種のソフト事業」と「上球磨森林組合、湯前木材事業協同組合、協栄木材によるハード事業」です。

▶上球磨森林組合が、平成30年度の繰越し予算(グレーディングマシン導入=木材の含水率や強度を測る機械)と令和元年度の予算(施設整備=直径60cmまで対応できる大系木の製材機械)で事業を実施しました。この事業により、目視等級区分のJAS製品だけでなく、機械等級区分のJAS製品(9月に認定取得の予定)を出荷できるようになります。

▶湯前木材事業協同組合の事業は、県より内示時期などを記した通知が届いています。県では、9月定例会で予算化される予定です。

▶上球磨森林組合の事業における町村補助金の負担割合は、湯前町25%、水上村75%です。



生産された機械等級区分のJAS製材品



令和元年度に導入された大系木の製材機械

厚生文教常任委員会

6月8日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	高橋一雄
委員	金子光喜、森山宏、遠坂道太

次の所管事務を調査しました。

- ◎子ども議会の検証
- ◎厚生文教常任委員会の年間計画

子ども議会の検証と今年度の実施

マニュアル【第2版(案)】をもとに検証

▶校長先生や教育長からは、これまでの子ども議会の開催に関して、前向きな意見をいただいています。平成29年度に子どもたちが書いた感想文集でも前向きな意見が多数ありました。

▶昨年度の一般質問の要旨数は27件。テーマの選定は今後も学校側にお任せします。

▶一般質問の仕方は、子ども議会マニュアルだけでは分からない部分もあります。対策として、「議員の意見や指導を行う機会を設ける」「教育長の講評に代えて議員の講評にする」「会議録を学校側に渡す際に、議員のコメントを付して渡す」などの方法が考えられます。

【課題】

- 子ども議会の提案に対する成果の見える化
- 子ども議会マニュアルの改定
- 令和2年度の開催調整
- 議員からのアドバイス方法

令和2年度 子ども議会は中止

委員会調査の後、今年度の子ども議会開催の可否について教育委員会・中学校側に確認しました。その結果、今年度は新型コロナウイルスの影響で授業の日程調整が難しいため、令和2年度の子ども議会は残念ながら中止となりました。

厚生文教常任委員会の年間計画

毎年度のPDCA

本委員会では、毎年度、PDCA(計画→実行→評価→改善)に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で委員会調査の時期が遅れましたが、これまでの年間活動を振り返り、あと2回の調査項目を決定しました。

▶委員から提案された調査項目(候補)は次のとおり。

- 部活動の社会体育移行
- 学校ICT教育(遠隔授業を含む)
- まんが美術館運営
- いきいき百歳体操
- 新型コロナウイルス感染症対策

▶今期の委員会調査は、7月(閉会中)と9月(会期中)の計2回となりました。上記の調査項目(候補)の中から、「学校ICT教育」と「まんが美術館運営」を優先して調査することにしました。

全 員 協 議 会

4月13日、5月1日、5月22日
6月5日、6月24日、6月30日
7月6日、7月15日

令和2年7月豪雨の初動

町職員の迅速な対応

7月6日と15日に、町内の被害状況の報告を受けました。

特集1(2ページを参照)

新型コロナウイルス対策の初動

4月13日時点の対応

人吉市で1人目の感染者が発生したことを受けて、議会全員協議会を開催し、今後の対応を確認しました。なお5月1日と22日の全員協議会で各種支援策(案)が示されました。

【各担当課】

◎ 新型コロナウイルス感染症防止対策に係る湯前町の警戒区分は、レベル2(警戒)からレベル3(特別警戒)へ引き上げ。

◎ 庁舎内の相談窓口は、町民の感染および疑いがあるものは、保健福祉課(保健師)で対応。商工業者への経済支援などの相談は、企画観光課で対応。それ以外は、内容に応じて各課で対応。

◎ 行事関係は、多数を集める会議などの自粛・延期・中止。いきいき健康教室は自粛。

◎ 公共施設は、5月10日まで閉鎖し、ホームページ・告知端末などで周知。

◎ 職員の行動は、職員の感染・家族の感染や疑いがある場合は自宅待機。

◎ 各種支援は、児童手当の上乗せ支給を保健福祉課で対応。特別定額給付金を税務町民課で対応。中小事業者への持続化支援金などを企画観光課で対応。

**湯楽里の経営状況
新型コロナウイルスの影響大**

リニューアルオープンした湯楽里が、新型コロナウイルスの影響を受けていることの報告がありました。

◎ 球磨病院の職員と家族に対し、差別的なことがないようにする。

◎ サージカルマスク5000枚を学校関係、保育所、福祉施設などに配布。

◎ 税務町民課の窓口へ飛沫防止シートの敷居を設置。

◎ 営業業者の来庁自粛。

◎ 学校は5月6日まで休校。

◎ 5月開催予定の郡体3競技(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ゴルフ)は延期。6月以降の大会は状況を見て判断。

◎ 春季の球技大会は中止。

◎ 消防操法大会は全国大会、県大会ともに中止。

【企画観光課】

▼ 4月13日から2週間は、予約を止めました。それ以降の予約分も断る可能性があります。

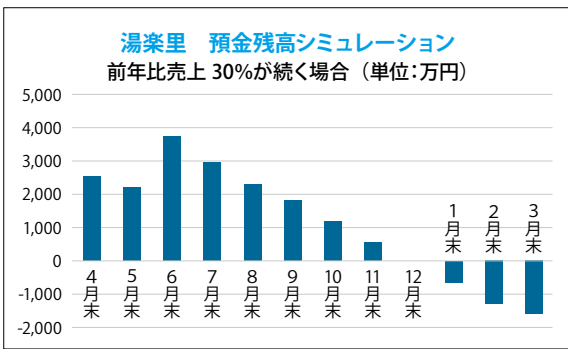
▼ 2月25日から4月12日までの宿泊・宴会キャンセルの損失総額は、1035万4400円となり、今後の厳しい経営が予測されます。

▼ キャンプ場などのレジヤーク関係は、感染対策を施しながらPR活動を行います。

▼ 支援策は湯楽里の取締役会で話し合い、それから議会へ

提案されます。

町長 監査役からの意見として、公的資金注入がよいとの話があった。それにあたり、まずは議会に報告し、営業努力、合理化を進めて、1ヶ月様子を見てから、手を打ったほうがよいと考える。コロナウイルスの影響で、イベントの開催もできない部分や、営業活動が難しい面もあるが、状況を見ながら努力していきたい。



休日静かな芝生広場(7月12日撮影)

城泉寺の名称を変更

今後は浄心寺(城泉寺)

【教育課】

▼一部住民から浄心寺に名称変更の要望がありました。
 ▼今後は、城泉寺と浄心寺を併記し、教育委員会で周知活動を行っていきます。人吉球磨観光地域づくり協議会のホームページでは、「浄心寺(城泉寺)」に変更されています。

第1期総合戦略の検証

検証結果を確認

【企画観光課】

今後の課題

○今回の検証結果を受けて、必要なアクション部分があれば、第2期総合戦略に反映する。

○本検証結果の内容を議員各位で確認し、意見があれば担当課に提示する。

風刺漫画の活用へ

デジタルアーカイブ化事業

以前から提案されていた本事業の検討が本格的に始まりました。風刺漫画のアーカイブとは、紙媒体をデジタル化して保管することです。

【教育課】

事業申請と課題

▼本事業の採択結果は、7月中旬に判明する予定です。
 ▼以前、日當課長補佐(九州電力からの出向職員)がいたころ、このデジタルアーカイブ化事業が提案された経緯があります。

▼高森町と合志市は、マンガに対するビジョンやミッションが定まっています。本町の課題は、マンガのまちづくりビジョンや風刺漫画の活用方針を具体的に定めることです。

収蔵庫の現状

これまで収蔵方針を決めず、

寄贈提案を拒まずに受け入れてきたため、収蔵庫には美術館と全く無関係の資料や資産価値の低い資料が収蔵されています。

町長 風刺漫画とアニメの両方でいきたい。風刺漫画だけでは、若者を呼ぶのは難しい。

教育長 那須先生の作品は、すばらしいものである。若者向けにコミックも同時に対応していきたい。集客力を高めながら、那須作品を多くの人に広めたい。

参事 美術館のあるべき姿として、この事業を進めていきたい。那須先生の作品、愛用品、関連作品をすべて含めると7000点ほどある。毎年度の応募作品を含めると、約3〜4万点ある。現在の収蔵庫の保管状況も改善する。風通しを良くしたり、保管する封筒を中性紙に変えたり、ドライボックスの中に調湿剤を入れるなどして整理するだけ

でも、いまの数倍良い環境になる。余計な物もあるので、それを廃棄するだけでもスペースは確保できる。まずは、収蔵方針を決めて、これ以上悪くならないようにしたい。



収蔵庫に入るのが困難な収蔵庫前室



整理不十分な収蔵庫

新型コロナと豪雨災害が議員活動にも影響

令和2年度の行事予定

研修・議員派遣などの動向(6月～11月)

開催月	研修・議員派遣	対応状況
6月	関西地区ふるさと会	中止
7月	3市町村議会(湯前町・西米良村・西都市) 国道219号現地調査	延期 (時期未定)
	熊本県町村議会常任委員長・議会運営委員長 研修会(熊本市国際交流会館)	延期 (時期未定)
	上球磨正副議長会(湯楽里)	出席
	熊本県町村監査委員研修会(自治会館)	欠席 (災害対応中のため)
8月	熊本県町村正副議長研修会(自治会館)	出席予定
	球磨郡町村監査委員研修(山江改善センター)	中止 (災害対応中のため)
	全国町村議会議長・副議長研修会(東京)	中止
9月	広域行政組合議会視察研修	議会運営協議会で協議
10月	熊本県町村議会議員研修会(県立劇場)	出席予定
	町村監査委員全国研修会(東京)	欠席予定 (感染を避けるため)
11月	熊本県町村議会広報研修会 (菊陽町図書館ホール)	欠席予定 (選挙期間中のため)
	議長全国大会	欠席予定 (議長未定のため)
未定	行政視察研修・議員個人の特別研修	全員協議会で判断

人吉球磨広域行政組合議会

新型コロナによるゴミ量増加と葬祭場の対応

臨時会後の全員協議会で報告

- ▶ 第2回臨時会が、5月29日に開かれました。
- ▶ あさぎり町議会の改選に伴い、多良木町議会の村山昇議員が議長に就任しました。また、あさぎり町議会の皆越てる子議員を議会運営委員に選任しました。
- ▶ 組合の共同処理する事務に関する調査特別委員会では、昨年7月12日に農業協同組合4組織の組合長から提出された「農業用廃プラスチック類の処理に関する陳情」の取り下げが報告されました。今後のサイレージフィルムなどの処理は、現在の処理先に加えて、石坂グループとの契約で対応します。
- ▶ 全員協議会では、「新型コロナウイルス関係による管内施設の状況」2件が報告されました。2月から4月における人吉球磨クリーンプラザへのごみ搬入状況は、直接搬入の個人ごみが前年比で2225台(108.54トン)の増加、事業所ごみが138台(8.43トン)の減少でした。また、新型コロナウイルスに感染した方を火葬できる葬斎場は、人吉と免田の2か所のみで、水上は火葬の前室がないため、対象外になるとのことでした。これらの詳細は、本組合のホームページをご覧ください。



組合からのお知らせ



個人ごみ搬入で混雑するクリーンプラザ

〈広域行政議員 黒木喜・椎葉〉

上球磨消防組合議会

訓練棟の建設始動

年度内に全体完成へ

- ▶ 第2回臨時会が、6月29日に開かれました。
- ▶ 上球磨消防署の新庁舎は、昨年の11月に供用を開始しました。残りの計画にある主・副訓練棟や周辺整備などの工事がこれから始まります。
 - ◎施工業者 味岡建設株式会社
 - ◎契約金額 1億9140万円
- ▶ 補正予算は、日本損害保険協会から救急車の車体寄贈が決定したことを受け、搭載する資器材などの整備費用2492万8000円を可決しました。

〈上球磨消防議員 金子〉

公立多良木病院企業団議会

新型コロナ対策で専決処分

空気清浄機などを購入

- ▶ 第2回臨時会が、5月26日に開かれました。
- ▶ あさぎり町議会の改選に伴い、あさぎり町選出の難波文美議員が副議長に就任しました。
- ▶ 専決処分は、新型コロナウイルス感染症対策における空気清浄機などの備品購入費(189万2000円)でした。

〈公立病院議員 味岡・遠坂〉



テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様から意見をいただきます。

テーマ 住民の声 緊急版

この度、熊本県で初の大雨特別警報が発令され、人吉球磨地方は未曾有の豪雨災害に見舞われました。梅雨は明けたものの、今後も台風や地震などの自然災害が発生する可能性が高いことから、緊急版として町の防災担当である総務課荒木龍二主幹に、個人でできる防災対策の話をうかがいました。



まずは、被害にあわれた皆様には心からお見舞いを申し上げます。
防災担当になり6年、役場職員になり27年、本町にこれだけの雨が降った経験はありません。現在、自然災害の猛威は人間の想像を超える力で襲っている状況です。もう対岸の火事ではありません。住民の皆様には事前の防災対策をお願いします。

○防災対策で最も重要なことは？

災害による被害をできるだけ少なくするには、一人一人自らが取り組む「自助」が最も重要だと言われています。大規模災害が発生した場合、役場自体も被災している可能性が高く、「公助」と言われる行政・消防・警察・自衛隊・病院などの救援が入るまで数日かかることも予想されます。一人一人が身の安全の守り方を知っておくことが重要です。自助の代表的な行動として避難があります。危険を感じた時点もしくは、それ以前に安全な場所に避難する心がけをお願いします。

○個人でできる対策とは？

災害に備え、平時から自分の家の安全対策をしておくとともに、身の安全の守り方を知っておく必要があります。まず、ハザードマップを確認し自宅の災害リスクを確認してください。また、最低3日分の飲食料品や生活必需品の確保などは、個人でもできる防災の対策です。

○地震の際の安全対策は？

これまでの大規模地震では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。「家具は倒れるもの」と考え、固定するなどの転倒防止対策をとりましょう。

○家族の安否情報の確認は？

災害が発生したときには、携帯電話などの通信機器が使えない場合も考えられます。家族の安否が確認できるように、安否確認の方法や集合場所など、今日からでも家族で話し合っておきましょう。

○最後に一言

「臆病になるな」とよく言われますが、災害に対する心構えに関しては、逆に「臆病な気持ちを持つ」くらいが、自分や家族の命を守ることに繋がります。様々な防災対策を行っても、予想をはるかに超える災害には太刀打ちできませんし、大丈夫という約束は誰にもできません。町民皆様の命を守りたいです。早め早めの避難行動をよろしくお願いします。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111

編集後記

▶圃場は緑の絨毯(じゅうたん)一色です。長かった梅雨がようやく明けましたが、新型コロナの禍中、自粛要請などで生活様式が変わり、士気も景気も梅雨の様相です。各種行事の中止や変更もあります。

▶町は、第二次補正予算による地方創生臨時交付金の申請や、町独自の経営持続化支援金事業など、各種支援策に向け迅速に取り組んでいます。新型コロナ対策・

景気対策の効果に期待します。

▶令和2年7月豪雨により犠牲になられた方々へ哀悼の意を捧げ、被災された方々にお見舞い申し上げますとともに早期の復興を祈念いたします。

(森山)

◆議会だより調査特別委員会

私たちが編集しました。委員長 椎葉 弘樹
副委員長 金子 光喜
委員 森山 宏
委員 遠坂 道太

